

## 第 51 回日本婦人科腫瘍学会、第 2 回 Rare tumor 研究会、第 34 回日本産婦人科手術学会

2011 年 11 月 25-26 日にかけて第 51 回日本婦人科腫瘍学会（久留米医学部産婦人科 嘉村敏治会長）と第 2 回 Rare tumor 研究会、28 日には第 34 回日本産婦人科手術学会（久留米医学部産婦人科 嘉村敏治会長）が久留米市のホテルマリターレ創世で行われました。

東北大学からは第 51 回日本婦人科腫瘍学会ワークショップ 1 題、第 2 回 Rare tumor 研究会 1 講演、第 34 回日本産婦人科手術学会シンポジウム 1 題、一般演題 2 題の発表がなされました。

中でも山田秀和先生がワークショップ 3：治療ガイドラインの課題（座長 八重樫伸生教授・片渕秀隆教授）として、「卵巣がん治療ガイドラインの課題」と題し、他がんの治療ガイドラインや NCCN のガイドラインとの比較、AGREE チェックリストを用いた評価、ご自身の使用経験に基づく検討などから問題点を指摘されました。山田先生が指摘した点には、座長の両先生が大きく頷き、今後のガイドラインに生かされるものと感じました。

### 演題名と演者

- 第 51 回日本婦人科腫瘍学会  
ワークショップ 卵巣がん治療ガイドラインの課題 山田秀和先生
- 第 2 回 Rare tumor 研究会  
子宮頸部小細胞癌：VAC/PE 療法を用いた CCRT を施行した 7 例の検討  
徳永英樹先生
- 第 34 回日本産婦人科手術学会  
シンポジウム 先天性膈欠損症（MRKH 症候群）に対する、造膈術の検討  
鍋島寛志先生

### 一般演題

- 腹腔鏡下ストラスマン手術と膈中隔切除術の別の術式を選択した閉塞性子宮奇形の 2 症例  
鍋島寛志先生
- ナビゲーションシステムと神経束のテーピングによる神経温存率向上の検討  
永井智之先生

